

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	オリオン機械株式会社					
代表者名	氏名	太田哲郎	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	須坂市大字幸高 2 4 6					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	25 はん用機械器具製造業				
主たる事業の概要	酪農機械および一般産業用機械器具製造業					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2,034	1,972	2,069	2,178	2,202
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3,988	3,868	4,106	4,306	4,370
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	31		28	29	29
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	136				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020	年度～	2022	年度
------	------	-----	------	----

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

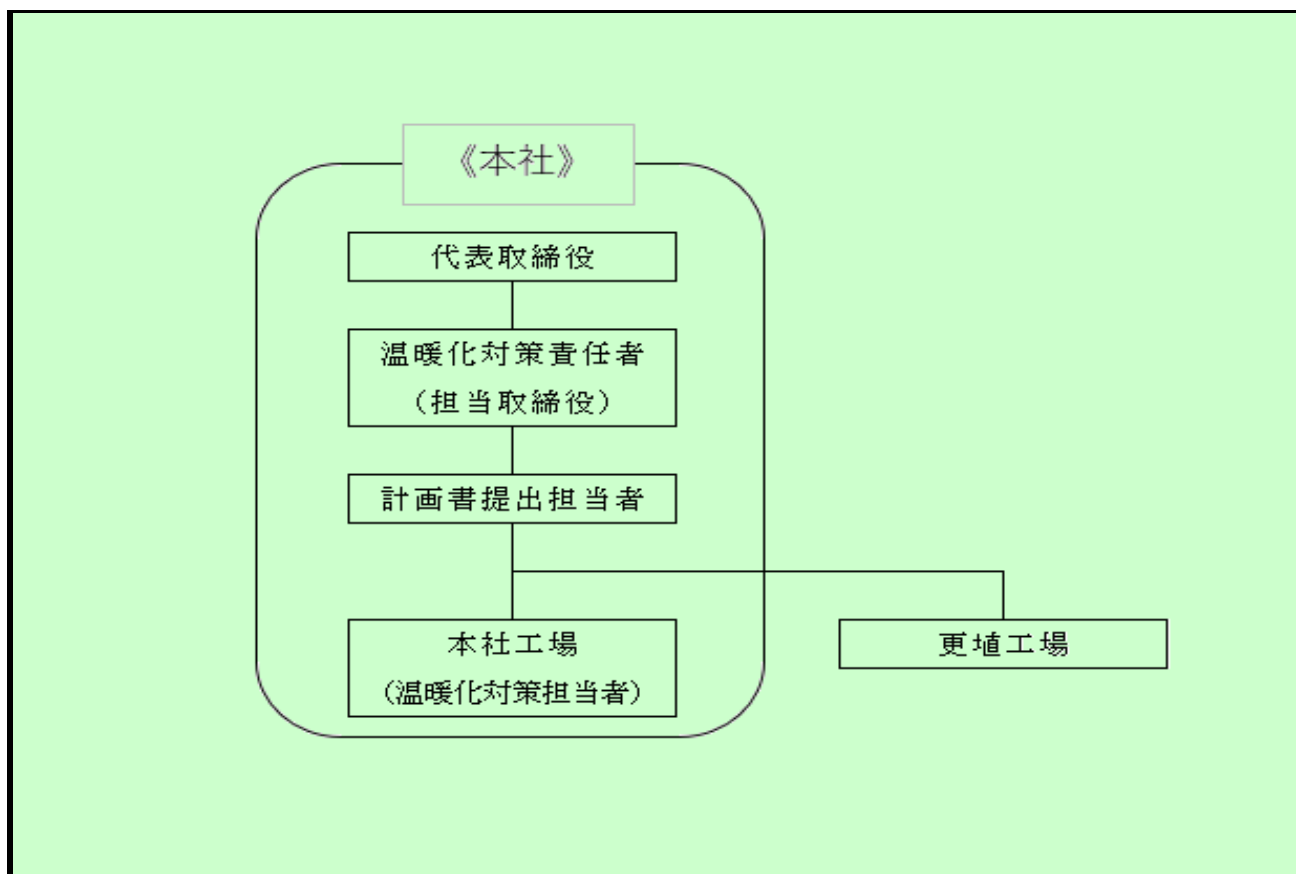
<input type="checkbox"/>	ホームページ	閲覧可能場所 オリオン機械(株)本社工場 閲覧可能時間 休業日を除く、平日の午前9時から午後4時まで 担当部署 総務部 総務グループ 連絡先 026-245-1230
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

IS014001 環境目的・目標にてエネルギー使用量の削減を目標設定し、削減活動を推進

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

省エネ委員会会議開催 (年2回)

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,988	t-CO ₂	売上高	316.50	単位	億円
2019年度	調整後排出量	3,988	t-CO ₂	基準原単位	12.60	t-CO ₂ /	億円
目標年度	目標排出量	3,868	t-CO ₂	目標原単位	12.22	t-CO ₂ /	億円
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	3年間で3%の抑制目標を達成するとともに、ピークカット（シフト）の取り組みを進めていく。						
第一年度	排出量	4,106	t-CO ₂	売上高	310.32	単位	億円
	削減率	-2.96	%	原単位	13.23	t-CO ₂ /	億円
2020年度	調整後排出量	4,106	t-CO ₂	原単位削減率	-5.01	%	
	削減率	-2.96	%				
排出量等の増減理由	・灯油・軽油の消費量増加に伴うCO ₂ 排出量の増加						
第二年度	排出量	4,306	t-CO ₂	売上高	335.80	単位	億円
	削減率	-7.98	%	原単位	12.82	t-CO ₂ /	億円
2021年度	調整後排出量	4,306	t-CO ₂	原単位削減率	-1.75	%	
	削減率	-7.98	%				
排出量等の増減理由	・工場稼働時間の増加による電気使用量の増加。 ・発電機を使用したことによる軽油使用量の増加。						
第三年度	排出量	4,370	t-CO ₂	売上高	355.72	単位	億円
	削減率	-9.58	t-CO ₂	原単位	12.28	t-CO ₂ /	億円
2022年度	調整後排出量	4,370	t-CO ₂	原単位削減率	2.53	%	
	削減率	-9.58	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	・試験研究により電気及び軽油使用量の増加 ・但し、売上増に対し排出量の増加が過度ではないため、原単位削減率については削減となった。						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	136	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	380752	照明のLED化、人感センサー化による節電	2020～2022		2020～2022	16.5
2	エネ起	330209	空気調和設備の更新	2020～2022		2020～2022	3.38
3	エネ起	330299	空気調和設備に係るその他の削減対策(遮光ガラス・遮光塗料)	2020～2022		2020	
4	エネ起	150105	デマンド管理システム運用	2020～2022		2020～2022	
5	エネ起	130303	局所空調(工場内ビニールカーテン設置)	2020～2022		2020	
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,988	1	4,106	1	4,306	1	4,370
1,500k1未満								
合計	1	3,988	1	4,106	1	4,306	1	4,370

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車	1	1	1	1
燃料電池自動車			1	1
クリーンディーゼル自動車	2	2	3	3
その他 (ハイブリッド等)	8	9	10	12
合計	11	12	15	17
自動車総数	31	28	29	29
次世代車導入割合	35.5	42.9	51.7	58.6

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	新型コロナウイルスの発生以降、公共交通機関の利用促進は行っていない
自転車利用促進	信州スマートムーブ通勤ウィークなどを利用し、啓蒙活動の継続実施 社員用の駐輪場の整備
来客者の交通対策	該当せず
物流の合理化	グループ会社間の定期トラック便を効率運用

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input checked="" type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		2020年度
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2002年度
	名称	ISO14001	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	グリーン調達を社内で推奨している		2019

1.5 自由記載欄

<p>1. 廃棄物の減量化</p> <p>2. 環境月間としての取り組み (社内研修、セミナーへの参加)</p> <p>3. 自転車駐車場の整備</p>
--